

日置市地域医療連携室便り

令和5年10月発行

夏が終わり秋の涼しさを感じるようになりました。散歩や旅行など、感染対策をしながら秋を満喫しましょう。今回は、住み慣れたまちで自分らしい暮らしを続けることができるよう「在宅医療」についてご紹介します。



在宅医療とは

医師や看護師などが、通院が難しい患者さんの自宅または施設などに訪問して、診察や治療、投薬などを行い、住み慣れた自宅などで安心して（最期まで）暮らせるように支援します。

往診と訪問診療の違いって？



往診

本人やその家族の求めに応じて医師が自宅へ訪問します。基本的には医師が必要と判断した場合に診察へ出向き、緊急的な対応を行います。

訪問診療



▲曜日の●時頃にと約束して、定期的に医師が訪問の上、診察するものです。計画的に治療・薬の処方・療養上の相談、指導などを行います。



どのような方が在宅医療を受けられるのかなあ？

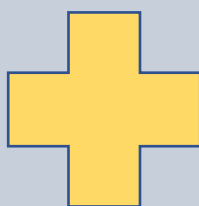
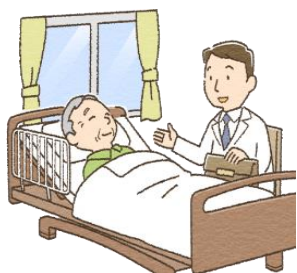
病気が理由で一人では通院が困難な方や、退院後の医療的ケアが必要な方、末期がんなどで自宅での看取りをご希望の方が在宅医療を利用しています。在宅医療が可能かどうかの判断は、かかりつけ医が行いますので、まずは相談してみましょう。



さまざまな職種で在宅医療をサポートします

医療サービス 診療などの提供

- ・ 訪問診療
- ・ 訪問歯科診療
- ・ 訪問薬剤管理 など



・ 訪問看護



訪問看護は、介護保険と医療保険のどちらでもサービスを受けられます

介護サービス 日常生活上の支援

- ・ 訪問介護
- ・ 訪問リハビリ
- ・ 訪問入浴介護 など



在宅医療と介護に関連した図書館展示のご案内

図書館において、在宅医療と介護に関連する本や「人生会議」などの展示を下記日程で行います。
読書の秋、図書館で素敵な一冊を見つけてみませんか？

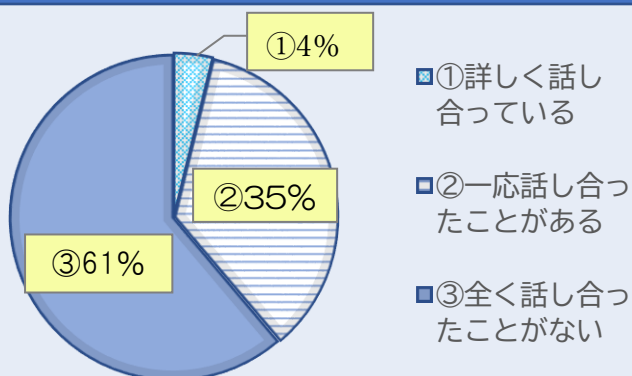
- ◎中央図書館 11月1日(水)～12月27日(水)
- ◎東市来図書館 11月25日(土)～12月21日(木)
- ◎ひよし図書館 11月1日(水)～12月28日(木)
- ◎ふきあげ図書館 10月21日(土)～12月21日(木)



日置市高齢者実態調査の結果（令和4年）

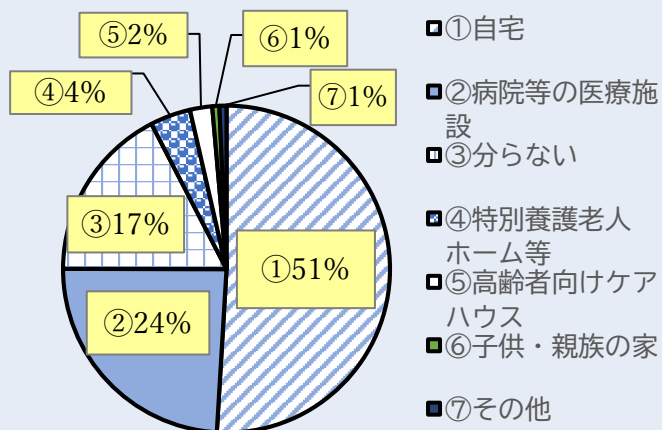
※日置市にお住まいの一般高齢者1,438人へ調査

受たい医療などについての本人・家族の想いの共有



「自分の死が近い場合の受たい医療など、家族とどのくらい話し合っているか」の質問では、「全く話し合ったことがない」方が61%を占めています。性別・年齢・地域別でも同様の結果でした。命の危機が迫った状態になると、約70%の方が、医療や介護などを自分で決めたり、希望を人に伝えたりすることができなくなると言われています。そうなる前に自分の想いを伝えておくことが大事ですね！

自分がのぞむ最期を迎えたい場所



「最期を迎えたい場所はどこですか」の質問では「自宅」と回答した方は51%でした。

皆さんののぞむ場所で、安心して自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができたらいいですね。医療や介護が必要になった時、自分が何を望んでいるのか、どんな人生を送りたいのかを日頃から考えて、家族などと共有しておくことを「人生会議」と言います。

人生会議とは

もしものときのために、あなたがのぞむ医療やケアについて前もって考え、家族や医療・ケアチームなどと繰り返し話し合い、共有することを言います。

2018年、厚生労働省は11月30日(いい看取り・看取られの日)を「人生会議の日」として人生の最終段階における医療やケアについて考える日としました。

在宅医療介護連携推進事業
ホームページは！！

日置市 在宅医療介護連携 [検索](#)



《お問い合わせ先》

日置市地域包括支援センター 地域医療連携室
〒899-2592 日置市伊集院町郡1丁目100番地
TEL:099-248-9423 FAX:099-273-0018